

## ロータリー財団月間卓話

ロータリー財団部門 補助金小委員会 野原 桂子様



### 【1】ロータリー財団とは

標語は、「世界でよいことをしよう」(Doing good in the world)。その使命は「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。

このロータリー財団は、1917年6人目RI会長のアーチ・克蘭フが「世界でよいことをするために、ロータリーに基金を作ろう」と提案して始まりました。最初26ドル50セントで始まったR財団基金は約100年間で資産残高10億5,800万ドル超に大きく成長しました(2017年6月末)。ところが同時に様々な問題を抱えるようになりました。

特に10数年前からR財団は相当な数のマッチング・グラントを処理するようになりました。これはロータリアンがR財団の人的プログラムの価値を大きく評価するようになったからです。しかし増えた提出書類の処理に多大な時間と経費を費やすようになりました。R財団は会計・コンサルティングを専門とする会社に調査を依頼。結果は今のプログラムのモデルでは長期的な成功が望めないとの結論に達しました。これを受けR財団管理委員会は未来の夢委員会をつくりプロジェクトの見直しに取掛りました。これが「未来の夢計画」(Future Vision Plan)の始まりでした。

### 【2】「未来の夢計画」

目的は、プログラムと運営を簡素化すること、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること、世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること、意思決定権を今まで以上に地区に移行することで、地区レベルとクラブレベルでロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること、ロータリーの公共イメージを高めることの5項目です。

R財団資金を有効に活用して、地域や人のためになる事業を積極的に行い、進んで事業に出席しようとなるのではないのでしょうか。

### 【3】ロータリー財団寄付の種類

ロータリー財団への寄付は、年次基金、恒久基金、使途指定の3種類に分けられます。年次基金寄付は、EREY100\$ (Every Rotarian Every Year)、日本では一昔前「毎年あなたも100ドルを」と言われる寄付です。(現在は当地区も含めて日本のすべての地区が毎年の目標額を150ドルにしています。)

使途指定寄付は、使い道を指定して寄付します。ポリオ撲滅に対するポリオプラス寄付はそれに当たります。

恒久基金寄付は、国際ロータリーのロータリー財団が寄付された元本には手を付けずに投資運用して、その収益を活動資金として分配しています。

### 【4】補助金の財源・シェアシステム(寄付金の流れ)

この寄付は3年周期で投資運用されます。3年後、寄付を全ロータリークラブが参加できるロータリー財団の活動のために財団が活用する国際財団活動資金(WF)とクラブまたは地区が財団の補助金及び活動に参加するための地区活動資金(DDF)に50%ずつ分けられます。つまり今年度年次基金寄付としての寄付金額の50%が、恒久基金の運用益と一緒に3年後に地区に戻ってきます。

### 【5】ロータリー財団補助金の種類

補助金の種類とその内容については、補助金は、地区補助金(DG)、グローバル補助金(GG)です。

**地区補助金**は、該当する寄付年度の地区財団活動資金（DDF）の50%を地区の裁量でクラブまたは地区が行う以下の事業に使えるものです。

**グローバル補助金**は、残りの50%を重点分野6項目（①平和と紛争予防／紛争解決、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥経済と地域社会の発展）に当てはまる事業に使えるものです。

## 【6】2630 地区補助金を使うには複数年準備が必要

地区補助金の対象となる事業を企画するには、会長ノミネー年度から準備が必要です。

## 【7】地区補助金を使うには

地区内クラブがよく使う「地区補助金」の申請スケジュールは、例えば2019～2020年度事業を行う場合（つまり次年度事業です）、今年度の11月に覚書（MOU）を地区と交わし、12月～1月に事業を申請しなければなりません。このように前の年度からの動きとなるので計画立てていかなければなりません。

覚書（MOU）はロータリー財団補助金使用事業計画が無いクラブでも年度内にグローバル奨学金を希望する留学希望者からの要望に応えるために毎年度交わしておく必要があります。「グローバル補助金」はいつでも申請できます。R財団委員会又は地区事務所にご相談ください。

## 【8】奨学金の説明

### ①グローバル奨学金

ロータリーの6つの重点分野に関する研究を専攻する大学院生に対し奨学金を支給するものです。申請は何時でもできます。募集は一年を通じて随時行っています。

授与される奨学金は\$31,500以上で、1～4年複数年授与可能。

奨学金は推薦クラブが\$1,000以上を拠出、残りを地区財団活動資金(DDF)と国際財団活動資金(WF)より拠出します。

※本人が各クラブへグローバル補助金奨学生について尋ねてきたときには必ず話を聞いてやってください。分からない時は地区ロータリー財団へお問い合わせください。

### ②地区奨学金

地区補助金奨学生では、地区が独自の資格基準を設けることができます。2630地区では財団の使命に関する事以外に、文化、芸術の分野の学生も支援します。大学卒業以上の学生が対象です。申請までに入学許可を取得する必要があります。

奨学生の応募は、地区補助金の応募と同時期(1月31日迄)に行います。

授与される奨学金は\$10,000以上/人で、授与期間は1年です。

地区補助金事業の申請状況により、募集人数、奨学金額が変更されます。

また、応募者が多数の場合は選考により授与者を決定します。

奨学金は推薦クラブが\$1,000拠出、残りを地区補助金より拠出します。

## ○ロータリー財団補助金を使ったクラブの行うこととは

ロータリー財団補助金を使った事業を行ったクラブは、積極的に事業の成果やロータリー財団補助金を使ってできたことを広報してください。

ロータリー財団は、せっかく皆さんからいただいた寄付を少しでも多く有効に使われることを願っています。

## 【9】寄付者、クラブへの認証

### OPHS（ポールハリス・ソサエティ）へのお誘い

R財団にはポールハリス・フェローをはじめ寄付認証システムがございますが、PHS（ポールハリス・ソサエティ）への参加をお願いします。これは毎年1,000ドル以上寄付するプログラムです。実は毎年

1,000 ドル以上寄付いただく方は全体の約 5%ですが、その 5%の寄付が年次寄付の約 40%に当たっています。この財源は「世界で良いことをしよう」というロータリー財団の目的達成に大きな貢献をしています。ポールハリス・ソサエティにお入りいただきますと PHS の特別なピンと認証状が届きます。年間 1,000 ドルの支払にはいろいろな方法があります。ぜひお入りいただきたいと思います。お問合せや詳しい入会方法につきましては地区事務所に連絡をいただければ幸いです。

## 【10】ポリオプラスについて

1985 年にポリオプラス・プログラムを開始して以来、ロータリーはポリオ撲滅を組織の最優先項目としてきました。世界ポリオ撲滅推進活動のパートナー団体とともにロータリーが活動を開始した 1988 年には、125 か国で 35 万件以上の発症が確認されていましたが、以来、25 億人以上の子どもにポリオの予防接種を行い、発症数は 99.9%減少しています。

ロータリーは 1985 年以来、ポリオ撲滅活動に 17 億米ドル以上の資金（ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを含む）を投入しています。

また、各国政府への働きかけを通じて、延べ 28 の援助国政府から 72 億米ドル以上の資金確保に貢献しています。

### ●ポリオが今も残る国は 3 か国、なぜ 15 億米ドルも必要？

ポリオ撲滅まであと 15 億米ドルが必要とされています。なぜ資金が必要なのでしょう。ポリオを撲滅するには、野生株ポリオ・ウイルスによる発症が起きている 3 か国（パキスタン・アフガニスタン・ナイジェリア）でウイルスの感染を断ち切らなければなりません。さらに、野生株ポリオ・ウイルスからの発症のない国にウイルスが流入しないようにする必要があります。ウイルス流入のリスクが高い国々（最高 60 か国）では、現在も子どもへの大規模な一斉予防接種キャンペーンが行われています。今やめるとどうなりますか？

ポリオを完全に撲滅しない限り、今後 10 年間に新たな発症数が世界で 20 万件に上ると推定されています。

2017 年 6 月のアトランタでのロータリー国際大会向こう 3 年間で 1 億 5,000 万米ドル（毎年 5,000 万米ドル）を約束しました。ビル&メリンダ・ゲイツ財団との倍額を上乗せマッチングと合わせて 4 億 5,000 万米ドルとなります。さらに 28 の国、組織、企業、個人からポリオ撲滅への誓約が発表され誓約総額は 2017 年 8 月には 13.6 億米ドルとなっています。新しい資金は、サーベイランス（監視活動）、発生への対応、年間 4 億人以上の子どもへの予防接種といったポリオ撲滅活動に役立てられます。ポリオ撲滅がいよいよ現実になる日が近づいています。

是非ポリオプラスへ寄付のご協力をお願いいたします。

## ○最後に

ロータリー財団は国際ロータリーに併設された法人ですが、理念的にも、実際的にも、一体の組織として機能しています。国際ロータリーは会員からの会費によって支えられ、ロータリー財団は自発的な寄付によって支えられています。

クラブと地区は、ロータリー財団から授与された補助金を活用して、より良い町や世界を築くための補助金プロジェクトを実施しています。

補助金を申請しない年度であっても、ロータリー財団への寄付は、「未来への投資」とお考えいただき、R財団へのご理解とご寄付をお願いいたします。